

健康運動実践指導者養成用テキスト(第1版 第2刷)
訂正リーフレット

頁	行	誤	正
5	右段 11行目	増大したことより、	増大したことにより、
6	左段 21行目	食生活基本計画	食育推進基本計画
26	右段 20行目	減少を	現象を
31	図2-31 下グラフ 縦軸	(l/分/kg)	(ml/分/kg)
55	右段 下から3行目	ものである。具体的な食行動に	ものである。その活用の仕方の検討だけでなく、食事摂取基準の改定などに伴い必要に応じて見直しもされてきている。具体的な食行動に
99	図6-5	[図タイトルの下に文献を追加]	[Wayne LW, Thomas RB: シニアのための筋力トレーニング—安全で効果的な運動指導ガイド, 小室史恵, 高田和子(訳), NAP 出版, 2001より]
193	右段 13行目	装置で	器械で
	14行目	対象者	傷病者
	下から9行目 ～最終行	AEDが使用可能…流れるため、 単相性に比	AEDが使用可能であるが、たとえ短時間であっても講習を受けることで、躊躇することなく実施することが可能となる。
194	左段 1～3行目	べより低エネルギー…行うが、	胸骨圧迫の中断を極力避けるため、
	5～10行目	除細動3回では…大切である。	小児用電極パッドが使用可能な機種もあり、常日頃から自分の周りのどの場所にAEDが設置されているのか確認しておくことが大切である。
195	右段 1行目	[改行して追加]	<p>i. 胸骨圧迫+AED 蘇生法(コール&プッシュ: 日本循環器学会)</p> <p>心停止からの救命のためには、一刻も早く助けを求めるため119番通報(携帯をプッシュ)とAEDを取り寄せるとともに【コール】、ただちに強く速い胸骨圧迫(胸の真ん中を真上からプッシュ)を絶え間なく行い【プッシュ】、届き次第AEDを使用(必要なら電気ショックボタンをプッシュ)することが大切である。胸骨圧迫のみの簡単な蘇生法でも人工呼吸を行う心肺蘇生と同等あるいはそれ以上の効果があり、また胸骨圧迫のみの救命に参加しようとする市民が増えることが期待できる。</p>
207	左段 下から8行目	日本人の食事摂取基準 2010年版	日本人の食事摂取基準 2010年版, 2009
	右段 13行目	[改行して追加]	9) 農林水産省: 食事バランスガイド, 農林水産省ホームページ (http://www.maff.go.jp/j/balance_guide/index.html)
209	右段 最終行	[改行して追加]	9) 日本循環器学会: コール&プッシュ 誰でもできる胸骨圧迫+AEDの蘇生法 (http://www.j-circ.or.jp/shinpaisoisei/index.html)